スタンフォード大学 海外研修派遣 報告書

㈶ 実験動物中央研究所 画像解析研究室
慶応義塾大学 総合医科学研究センター
山田 雅之

① 期待していたことと，その結果

私は現在，前臨床動物実験における動物のイメージングを専門としているため，今回は直接的な情報収集ではなく，その参考となる最先端の臨床画像技術について学ぶことを目標に参加しました．

実際には，すでに臨床で行われている内容だけでなく，臨床応用を数年先に目指した研究的要素の強い内容も数多く紹介されました．さらに，私の専門である実験動物画像学についても貴重なラボ見学も含め，詳細にレクチャーしていただけました．異分野からの唯一の参加者であった私にとっては，そのような内容であったことが期待を大きく上回る本当に有意義な研修となりました．

② 得られた成果とそれをどう生かすか

スタンフォード大学では，机上で理論的に期待される成果を実際に臨床で実現するために，様々な最先端画像機器を導入し，必要な人材を数多くそろえ，高度なイメージングにチャレンジしていました．すでに，そこから臨床応用にむけた様々な成果が生み出されていることは，医用画像技術の発展に最前線で寄与するという壮大なコンセプトと，それを実現する多角的なストラテジー，そしてそれらを支える多くのスタッフの情熱によるものだと感じました．私たちは，しばしば自身の日常業務だけに目を奪われたり，それに関連する限られた範囲のテーマの中で研究を行ってしまいますが，やはり医療の発展に貢献するという基本的で重要な使命を改めて認識し，そのような目標を常に掲げて取り組んでいきたいと考えました．

③ 最も印象に残ったこと

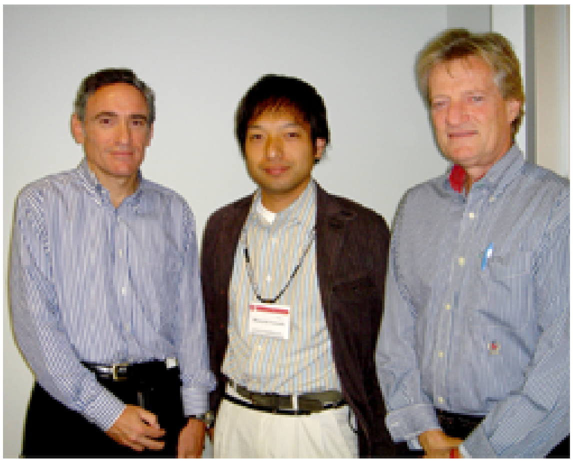
本質からは外れるかもしれませんが，今回の研修を通して最も印象に残ったのは，スタンフォード大学や担当スタッフの研修おけるホスピタリティーです．モズレー先生をはじめ多くのスタッフが，常に笑顔とジョークで私たちをなごませ，リラックスして高度な研修を受けることができました．もちろん，背景にはこの研修に多大な援助をしてくださったGE社スタッフや学会関係者の御尽力があるものと思います．いつか，我々が同じように海外から研修生を受け入れる機会があったとき，手本にしたいと感じる，本当に素晴らしいホスピタリティーでした．

④ 今後の海外研修に期待する事

放射線技術学は内容も多岐にわたり，当然のことながら学会員の関心も幅広い内容になっていると思います．その様な状況において，今回の研修内容が十分かどうかという点については，今後一層の検討が必要かもしれません．また，参加者を募る際の情報提供，特に研修の内容についての詳細な情報提供についても，検討の余地が残されているように思います．

ただ，私のように期待以上の大きな満足感を得た会員もおります．本当に素晴らしい企画で，簡単には得がたい貴重な機会であったと思います．第一回の本研修に参加させていただけたことをとても感謝しています．是非今後も続けて行っていただきたいと思います．

最後になりましたが，本研修に関わられたすべての方に心よりお礼を申し上げます．



Scott W. Atlas 先生 (左)，筆者 (中央)，Michael Moseley 先生